

## 第 8 4 回宇宙理学委員会 議事録

日時： 2023 年 12 月 25 日（月） 13:00～16:10

場所： オンライン開催（ZOOM）

出席者：

委員： 関（委員長）、篠原（副委員長）、阿部、河原、福家、松本（以上幹事）、生駒、和泉、井上、今田、榎戸、大竹、笠羽、杉田、住、関根、関本、田代、玉川、寺田、鳥海、中川、松浦、山口、山崎、横山、米徳、渡辺（伸）、渡邊（誠）、鈴木

説明者： 三好（ひので評価委員長）、鶴（MAXI 評価委員長）、滝澤（K-EUSO WG 主査）

宇宙研： 國中所長、新田理事補佐、佐藤 PD、吉田研究総主幹、青柳科学推進部長、大井田研究基盤・技術統括

オブザーバ： 山田宇宙物理学研究系主幹、齋藤太陽系科学研究系主幹

事務局他： 加持計画マネージャ、上田主任、渡辺主任、高橋主任、高村主事、石崎、上野 PO 室長、奈良岡主任、東方主査、早川、根本

配布資料：

- 資料 0 第 84 回\_宇宙理学委員会議事次第 a
- 資料 2-1 第 83 回宇宙理学委員会議事録
- 資料 2-2 理学 AI 表
- 資料 3 2023 年度理学戦略的開発研究費追加配算について
- 資料 4 【募集要項】 FY2024 戦略的開発研究費（理学）
- 資料 5 【募集要項】 FY2024 搭載機器基礎開発研究費提案募集・FY2023 報告書提出依頼\_3 版
- 資料 6 WG 審査状況一覧 a
- 資料 6-1-1 FORCE\_WG 審査報告書-v3b
- 資料 6-1-2 FORCE-WG\_終了報告書-20231204
- 資料 6-1-3 FORCE\_WG 終了申請内容についての質問への回答\_final
- 資料 6-2-1 UZUME\_WG 延長審査報告書-v3
- 資料 6-2-2 UZUME\_提出版 改訂版 2023 年 8 月 31 日 NC2
- 資料 6-2-3 UZUME\_WG 継続に関する質問 2023 年 8 月 18 日への回答 提出版
- 資料 6-2-4 UZUME 再質問\_UZUME-WG 回答\_提出版 20231002
- 資料 6-2-5 月の縦孔・地下空洞直接探査 WG 継続嘆願書 提出版
- 資料 7-0 あかつき延長ミッション評価報告書\_20231218\_ver5
- 資料 7-1 【諮問】 あかつき運用延長科学評価依頼 20230828
- 資料 7-2 あかつき後期運用の再々延長審査（B 改訂+版）
- 資料 7-3 あかつき QA\_15nov2023 提出版

資料 7-4	あかつき QA_LAC 回答_R2
資料 8-0	ひので審査報告書_20231225g
資料 8-1	【諮問】ひのでプロジェクト延長再審査_運用延長科学評価依頼 20230906
資料 8-2	ひので延長再審査_インパケ_提出版-231106
資料 8-3	太陽・太陽圏研究領域の目標・戦略・工程表 (2023_年版)
資料 8-4	ひので延長再審査_インパケ C 改訂_提出版-231222
資料 9	MAXI 運用延長審査に向けた科学評価報告書_v8
資料 10	CALET 後期運用科学評価会_報告書
資料 11-1	【諮問】ひさきプロジェクト終了科学評価依頼 20231218
資料 11-2	ひさき評価委員候補
資料 12	JASMINE_科学専門家推薦
資料 13-1-1-1	K-EUSO_wg 報告書 res
資料 13-1-1-2	K-EUSO_wg_close_v1
資料 13-1-2-1	LISA_WG 終了報告書_v2_20231225
資料 13-1-2-2	wg_close_LISA_20231225
資料 13-1-3	ArielWG 終了報告 v2
資料 13-2	WG 見守りについて
資料 14-1	宇宙理学メンバ登録について
資料 14-2	宇宙理学メンバ退会について

#### 1. 所長挨拶

- 昨今の ISAS 関連状況は先週の理工合同委員会での所長挨拶を参照のこと。

#### 2. 前回議事録および A/I 確認 (審議) <<資料 2-1、2-2>>

- 前回議事録および A/I はメール回覧済み。委員会においてコメントは無く承認された。

#### 3. 2023 年度 戦略的開発研究費 (理学) 追加配算 (報告) <<資料 3>>

- 玉川戦略費評価委員長から報告された。
  - ◇ GREX-PLUS WG と次世代小天体 SR WG に追加配算済。

#### 4. 2023 年度戦略的開発研究費の報告書提出と 2024 年度提案募集について (審議) <<資料 4>>

- 玉川戦略費評価委員長から募集案が説明された。
  - ◇ 旅費の位置付けを明確化した。2/16 べ切。
  - ◇ GDI 時限 WG に関しては別途対応する。
- 議題 6(2) (UZUME WG 延長審査報告) における議論を参照のこと。
- 評価小委員会の募集案が承認された。

5. 2023 年度搭載機器基礎開発研究費の報告書提出と 2024 年度提案募集について（審議） ≪資料 5≫
- 松浦搭載機器開発研究費審査委員長から募集案が説明された。
    - ◇ FY2023 成果報告書と FY2024 申請書いずれも 2/29 〆切。
    - ◇ 応募件数が減少傾向にあり、今後対応を議論する。
  - 審査小委員会の募集案が承認された。
6. WG 延長/終了審査関連 ≪資料 6≫
- (1) WG 終了審査結果報告（FORCE）（審議） ≪資料 6-1-1～6-1-3≫
- 横山審査委員長から審査結果が説明された。
    - ◇ カテゴリ 3 に該当。報告書は適切に記載されている。
    - ◇ WG 終了を認めるべきと判断する。
    - ◇ 理学委員会への申し送り事項は資料記載の通り。
  - 報告書の誤記（誤：中型、正：公募型小型）の修正は審査委員会にて対応する。  
（A/I 済：誤記修正済）
  - 審査委員会の審査結果が承認された。
- (2) WG 延長審査報告（UZUME）（審議） ≪資料 6-2-1～6-2-5≫
- 横山審査委員長から審査結果が説明された。
    - ◇ カテゴリ 2 に該当。SLIM からの技術的差分が不明確。
    - ◇ 3 年程度以内に有効な公募型小型提案に至ることは困難と判断し、WG 延長を認めるべきでないと判断した。  
SLIM からの差分という観点から練り直した新ミッション提案を求める。
    - ◇ 直近の戦略経費（理学）には応募できないと認識したうえでの判断である。
    - ◇ 理学委員会への申し送り事項は資料記載の通り（理工両面を併せ持つ探査ミッション案への対応検討が必要）。
    - ◇ 12/5 に審査結果案を審査委員会から UZUME WG に伝えた結果、WG から委員会へ WG 継続嘆願書（資料 6-2-5）が提出された。
  - 報告書の微修正（月面探査は公募型小型以外でも展開されるので最有力候補と断言できない旨を反映）は審査小委員会にて対応する。  
（A/I 済：修正済）
  - WG からの継続嘆願書へのレスポンスを審査小委員会から出して close する（A/I No. 80）。
  - 今後のポスト SLIM の戦略/ミッションを見通す議論を ISAS 執行部、太陽系科学研究系、太陽系 GDI にて行う必要がある（A/I No. 81）。
  - WG 延長審査と戦略経費申請の年間スケジュール/プロセスのガイドラインを、工学委員会の運営方法（戦略経費を年 2 回公募）も参照しつつ、理学幹事団にて整理する（A/I No. 82）。
  - 審査小委員会の審査結果が承認された。
- (3) その他 ≪資料は投影のみ≫

- 離席した横山審査委員長の代理で福家幹事から「FIRProbe RG からの WG 設置申請への対応」について情報共有された。
  - WG 設置申請はまだ非公式の段階であり、「設置申請審査は速やかに進めるが、結果確定は2024年度最初の宇宙理学委員会会合以後になり、2024年度当初の戦略的経費申請は困難である」旨を FIRProbe RG に伝えるとの横山審査委員長の意向が宇宙理学委員会に共有された。
7. あかつき延長審査にかかる科学的意義の評価結果について（審議） ≪資料 7-0～7-4≫
- 関根評価委員長から評価結果が説明された。
    - ◇ 後期運用②以降（2024年4月以降）の再々延長（～2029年3月）を推奨する。
    - ◇ 赤外カメラ以外の機器は健全で、ミッション成立性を見込める。
    - ◇ 2029年3月まで延長すれば一太陽周期をカバーできる。
    - ◇ チームとしては2029年4月移行の更なる延長は予定していない。
  - 2029年4月以降の延長予定が無い旨を報告書に追記するか評価委員会で検討する。（A/I 済：追記済）
  - 評価委員会の評価結果が承認された。
8. ひので延長審査にかかる科学的意義の評価結果について（審議） ≪資料 8-0～8-4≫
- 三好評価委員長から評価結果が説明された。
    - ◇ 2033年度までの運用延長計画を妥当と判断した。
    - ◇ 2033年度実施予定の廃棄運用の詳細は今後検討される。
  - 評価委員会の評価結果が承認された。
9. MAXI の運用期間延長審査会に向けた科学的評価結果について（審議） ≪資料 9≫
- 鶴評価委員長から評価結果が説明された。
    - ◇ フル&エクストラサクセス達成と判断した。
    - ◇ 後期運用の再延長（2025年1月～2030年12月）の科学的価値を確認した。
  - 評価委員会の評価結果が承認された。
10. CALET の運用期間延長審査会に向けた科学的評価結果について（審議） ≪資料 10≫
- 米徳評価委員長から評価結果が説明された。
    - ◇ サクセスクライテリア達成を確認した。今後も観測性能が維持されると期待する。
    - ◇ CALET に資料改訂（文言修正やデータ公開ポリシー追記等）を提言した。
    - ◇ 後期運用の再延長（～2030年12月）の科学的価値があると評価する。
  - 評価委員会の評価結果が承認された。
11. ひさきプロジェクト終了にかかる評価依頼（審議） ≪資料 11-1、11-2≫
- 佐藤 PD から理学委に「ひさき」の科学的成果の総括・評価が依頼された。2024年3月ま

での答申を希望。

- 関委員長から評価委員会設置案が提示された（委員候補 6 名：継続 4 名・新規 2 名）。
- 評価委員会設置案が承認された。

## 12. JASMINE MDR 外部評価委員の推薦について（報告） 《資料 12》

- 篠原副委員長から経緯および推薦者 2 名が報告された。

## 13. WG・RG 関係

### (1-1) K-EUSO WG 終了報告 《資料 13-1-1-1～13-1-1-2》

- 滝澤主査から報告された。
  - ◇ カテゴリ 2 に該当。コロナ禍やロシア/ウクライナ情勢の影響を受け、終了する。
  - ◇ 得られた技術的成果は POEMMA 等への適用を検討している。

### (1-2) LISA WG 終了報告 《資料 13-1-2-1～13-1-2-2》

- 和泉主査から報告された。
  - ◇ カテゴリ 2 に該当する。Photo Reciever 供給国として日本が採用されず、終了する。LISA コンソーシアムからも脱退する。
  - ◇ 得られた技術的成果は SILVIA や GRACE-C への適用を検討している。
- 国際共同ミッションへの参画の在り方は、年始の宇宙科学シンポジウムなどで議論する。

### (1-3) Ariel WG 終了報告 《資料 13-1-3》

- 生駒主査から報告された。
  - ◇ 2023 年 7 月に ISAS 所内チーム（戦略的海外共同計画）が設置され、同 10 月に Ariel ミッションコンソーシアムから Co-PI 国として承認されたことを踏まえ、終了する。
  - ◇ 挑戦性を含む開発課題を担当し苦労したが、高い費用対効果で参加できることに繋がった。打ち上げ目標 2029 年。

### (2) WG 見守り担当について 《資料 13-2》

- 篠原副委員長から現状が説明された。
  - ◇ 今期は WG 見守り担当がまだアサインされていない。
  - ◇ WG 数は 3 つに減った（MACO、PhoENiX、FACTORS）。
  - ◇ 担当者毎のムラを無くし見守り活動の意義を高める方策の検討が必要。
- 次回（2 月）委員会開催時までには幹事団で今期の見守り案を作成する（A/I No. 83）

## 14. 宇宙理学メンバ申請（審議）、退会（報告）について 《資料 14-1、14-2》

- 事務局から新規登録 1 名が説明され、承認された。
- 事務局から退会 1 名が報告された。

15. その他

- 本委員会として適切な開催時間の確保が必要（A/I No. 79 再確認）。
- 次回（2月）委員会はオンライン開催とし、対面開催は来年度に検討する。